

養父市が育むところ豊かで自立する人づくり

学校教育目標

ふるさとを愛し 自らを高め 未来への
道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成

・憲法
・教育関係法規
・国及び県の教育方針
・市の教育方針

・地域の願い
・児童、保護者の願い
・教職員の願い
・学級経営方針

めざす学校像

- 1 「来てよかった」、「明日も行こう」と思える学校
- 2 多様性を認め、共に学び、その成長を分かち合える学校
- 3 地域と協働し、信頼される学校

めざす児童像

知 主体的に学び、
自らを伸ばす子

徳 心やさしい
思いやりのある子

体 命と健康を大切にし、
ねばり強くやりぬく子

めざす教師像

1 使命感と情熱にあふれ、
互いに高め合える教職員

2 子どもの声に耳を傾け、
学ぶ楽しさを教えられる教職員

3 保護者や地域に寄り添い、
信頼される教職

本年度の重点目標

■ふるさとを愛し、集団の中で自己の有り様を考え、実践できる児童を育成する。

- 児童の主体性を育てる教育活動を推進し、「命の大切さ」「感動体験」「キャリア体験」「自己有用感」を高め、自立して未来に挑戦する意欲や態度を育成する。
- 豊かな自然、地域に根ざした教育資源を生かした体験活動、地域の人材を活用した教育の推進を行い、「ふるさと伊佐や養父市の素晴らしさ」を実感させるとともに、ふるさとを愛し、地域貢献力を育成する。

■知・徳・体のバランスを保持し、「確かな学力」を備えた児童を育成する

- 主体的・対話的で深い学びをめざし、授業改善、魅力のある授業、「学習タイム」、「ひょうごがんばりタイム」の充実による学力、読解力、対話力の向上を図る。
- ICTを活用する力を高め、多様な情報から目的に合った情報の収集、課題解決の方法を見いだすことができる情報活用能力を養うとともに情報モラルを育む。
- 発達段階に合わせた「運動プログラム」を工夫・活用し、体力や運動能力の向上を図るとともに、健康・安全な生活を送るための知識と能力を養う。

■学校を中心とした関係機関との連携を密にする

- 学校を拠点として、家庭、地域、学校運営協議会等と連携したよりよい教育環境づくりを推進するとともに、学校から家庭・地域への効果的な情報発信を推進する。
- 教職員間のコミュニケーションと共通理解を図り、保護者および関係機関との連携を密にして、全児童のよりよい成長に向けた教育活動を推進する。

実践項目

知

- (1) 魅力ある授業づくり
 - ①児童が「できる」「わかる」を大切にする授業
 - ②授業のUD化
 - ③主体的に取り組む姿勢や思考の連続する学び
- (2) ICT（タブレット端末等）の活用
- (3) 読書活動の充実
 - ①朝読書の充実
 - ②「読み聞かせ」「ブックママの日」による読書意欲の啓発
- (4) 言葉の力を育成
 - ①読む力を伸ばす
 - ②書く力を伸ばす
 - ③話す力を伸ばす
- (5) 学習タイムの充実
 - ①基礎学力の定着（漢字、計算）
- (6) 学習習慣の確立
 - ①家庭学習の充実
 - ②「そうあんくんの日」の活用

徳

- (1) 学級経営、生活指導の充実
 - ①いじめ、体罰の根絶
 - ②生活アンケート、個別相談の実施
 - ③職員の共通理解、子どもを語る会の充実
- (2) 縦割り班活動の工夫・充実（清掃、集会活動、児童会活動）
- (3) 特別支援教育の充実
 - ①児童支援委員会の開催
 - ②出石特別支援学校との交流活動の実施
- (4) 道徳教育、人権教育の推進
 - ①道徳参観日の実施
 - ②兵庫県版道徳副読本を活用した、家庭での対話の推進
- (5) 防災教育の推進
 - ①予見、判断、適切な行動力の育成

体

- (1) バランスのとれた身体づくり
 - ①体カテスト結果からの課題とその対策
 - ②「やっぷーアップ」の推進
 - ③発達段階に応じた運動遊びや運動の推進
 - ④「リズムジャンプ」の推進
- (2) 生活指導、保健指導の充実
 - ①歯磨きの習慣化や歯科指導の充実
 - ②給食指導や睡眠時間の確保
 - ③インターネットやスマートフォンの利用と健康についての指導
- (3) 心の安定、ケアの充実
 - ①個別相談の充実
 - ②スクールカウンセラーとの連携による相談の充実

環境教育＝ふるさと教育

- ふるさと意識の醸成
- 環境保全のための実践的活動力の育成
 - ・委員会活動、総合的な学習の時間の活用による発信
- 外部人材、関係機関との緊密な連携
- コウノトリが生息する地域づくりへの理解・参画
- 地域素材の開発、教職員の地域探検

家庭・地域との連携

- 学校への理解と協力を生み出す情報の提供
 - ・HP、学校通信、学級通信、メディアの活用
 - ・アンケート、学校評価の効果的な活用
- 足で出会い、声で知り合い、顔でつながる
 - ・地区の行事への積極的参加
- 「そうあんくんの日」
 - ・PTAとの協働、生活の振り返り、自主学習の取組
- SNS、ゲームのルールづくり
- PTA、地域と連携した防災教育の実施

勤務時間の適正化

- 心身ともに健康な教職員集団をつくる
 - ・定時退勤日の徹底、ノー会議デーの実施
 - ・記録簿によるタイムマネジメントの確立
 - ・子どもと向き合う時間の創出
- 全職員が参画する業務改善の体制の継続
 - ・電子化、環境整備、ルールづくりの推進

小中一貫 園・小・中連携

- 一貫性と連続性、互恵性のある校種間連携の推進
 - ・6年生の中学校登校（年3回）
 - ・SNS、ゲームのルールづくりの取組
 - ・近隣小学校との連携、伊佐こども園との連携
 - ・学び方の統一